

|   |   |      |       |
|---|---|------|-------|
| 授業科目名   | 日本語教育実習   | 単位数  | 1単位   |
| 担当教員名   | 遠藤みどり・奥元さえ美・山本晃彦・岸根彩子・今村寿子・寺浦久仁香・田口桂子                                 | 担当形態 | クラス分け |
| 実務内容<br>(実務家教員の場合)  | 本科目は日本語教育現場に則した指導内容であり、日本語教育現場、日本語教師養成経験のある教員が実践的な視点から様々な教授法を用いて指導する。 |      |       |
| 「学位授与の方針」との関係   |   |      |       |
| DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知)<br>DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)  |   |      |       |
| 授業のテーマ及び到達目標  |   |      |       |
| 前期で修得した理論、後期の演習Ⅰ、演習Ⅱで学修した実践的授業の総括として、実際に外国人学習者に授業を行う。授業の導入から展開、発展、そして定着までを一つの流れとして掴む。指定された課の最初から最後まですべての授業を組む(教案作成・教材作成)ことができる知識の獲得を目指す。  |   |      |       |
| 授業の概要   |   |      |       |
| 模擬授業、フィードバック、授業修正、模擬授業の繰り返しにより指定された課の内容を確実に把握し、授業の組み立てを行っていく。また、他の実習生の模擬授業を分析していくことにより、自分自身の授業を客観的に観察する力をつける。チームティーチングを取り入れることにより、日本語教師として就職した際に役立つ知識を身につける。対面授業、オンライン授業の両方を想定した授業内容を組み立て、状況にあった指導ができるようになる。  |   |      |       |
| 授業計画  |   |      |       |
| 【スクーリング1日目】<br>第1回:オリエンテーション・実習の進め方(日本語学校の状況、日本語の学習とは、日本語教師の資質とは、日本語教育の情動的側面、異文化受容・適応、今後の日本語教育業界の見通し)<br>第2回:各グループに分かれて教案のすり合わせ(日本語教育プログラムの理解と実践、目的・対象別日本語教育法)<br>第3回:各グループでプチ模擬授業の実施<br>第4回:教員からのフィードバック<br>(学習ストラテジー、教室・言語環境の設定、日本語の文法体系、日本語の意味体系、意味確認、日本語分析)<br>第5回:各自、教案修正(コースデザイン見直し、教授法の確認、日本語分析の確認、教案分析・教材準備・教材研究) |   |      |       |
| 【スクーリング2日目】<br>第6回:各グループに分かれて教案、教材の修正 授業計画の見直し<br>第7回:各グループで授業の実施<br>第8回:各グループ全体の前で模擬授業<br>第9回:教員からのフィードバック・他のチームの授業分析とディスカッション<br>各自、教案修正(模擬授業に向けて教案、授業の最終調整)  |   |      |       |
| 【スクーリング3日目】<br>第10回:模擬授業(教育実習のリハーサル)教師役、学生役に分かれ、他のチームの模擬授業の分析<br>第11回:教員からのフィードバック、各自で教案修正<br>第12回:各チームで模擬授業の振り返り<br>第13回:教壇実習へ向けての注意事項、当日の予定の連絡  |   |      |       |
| 【スクーリング4日目】<br>第14回:教壇実習<br>第15回:実習後、留学生との交流会で異文化交流の体験(コミュニケーション教育、日本語語用論的運用力)<br>教員からのフィードバック(評価法確認、中間言語分析、授業分析(対人関係能力、受容・理解能力、言語運用能力、社会文化能力、異文化調整能力等の視点から))   |   |      |       |
| ※1日目から実践的な授業になるので、1日目までに教案・教材を準備し整えておく必要がある<br>※「日本語授業実践演習」までに教壇実習を振り返り、教案を完成版に修正すること<br>※模擬授業後に教案を推敲するため、自宅等での事後学修が必要となる   |   |      |       |
| スクーリングでの学修  |   |      |       |
| 第1日目:模擬授業一回目・フィードバック<br>第2日目:模擬授業二回目・フィードバック<br>第3日目:模擬授業(教壇実習リハーサル)・フィードバック<br>第4日目:教壇実習   |   |      |       |
| テキスト  |   |      |       |
| 『みんなの日本語初級Ⅰ』第2版 本冊 スリーエーネットワーク<br>著者:スリーエーネットワーク 編著 ISBN: 9784883196036<br><br>『みんなの日本語初級Ⅱ』第2版 本冊 スリーエーネットワーク<br>著者:スリーエーネットワーク 編著 ISBN: 9784883196463  |   |      |       |
| 参考書・参考資料等   |   |      |       |
| 学生に対する評価  |   |      |       |
| 4日間のスクーリングの取り組みを総合して判断する。(教案作成、授業計画、準備・模擬授業)評価50% (教壇実習)評価50%   |   |      |       |